

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

一般の部



奥の細道
むすびの地
大垣

令和八年六月度 入賞句一覧 投句数 五百五十五句

特選

長町 誠司 選

紅椿落ちて嫉妬の消えにけり

大垣市 柴田 えり子

終焉の瞬間、あるいは終焉間近の「美」を詠んだ句は、人だけでなく植物にも多く見られます。例えば、桜は「散る」・梅は「こぼれる」・牡丹は「崩れる」・紅葉は「舞う」・椿は「落ちる」などと表現されます。椿がストンと落ちるさまは、よく潔さに例えられますが、この句では「嫉妬」が消えた、作者の感性で表現しています。

棲み分けて雲に近づく岩燕

安八郡神戸町 伊藤 由美子

燕と岩燕には、姿だけでなく営巣の場所と形に違いがあります。燕は人家や車庫の軒下などに椀型で、岩燕は橋や崖などに、入口の狭い壺型で巣を作ります。この句、高所に生息する岩燕の特徴を、ご自身のことばで「雲に近づく」と表現しました。岩燕の動きと高さが読者によく伝わってきます。

紫陽花や今は更地の練兵場

群馬県館林市 坂口 いちお

練兵場とは、軍隊が行進・射撃。戦闘などの訓練を行うために設けられた広い土地や施設を指します。しかし現在では公園や学校に姿を変えています。歳時記には、色が変わることから「七変化」の傍題がある紫陽花。時代の変化により、更地となった練兵場に対する作者の感慨がよく伝わってきます。紫陽花の花言葉に「辛抱強さ」「無常」「家族」などがあることから、作者の心情を窺い知ることができます。

秀逸

浮いてこいプリマドンナの半世紀

揖斐郡池田町 小川 智恵子

青嵐園児と帽子追ひ掛けて

大垣市 平野 順一

青嵐小兵力士の下手投げ

養老郡養老町 田中 紫香

新樹光つひに満願寺の朱印

大垣市 小林 研

桜咲く地図のすみまで旅をする

大垣市 間山 鈴子

三ツ編みの編み目くつきり更衣

不破郡垂井町 野々部 節子

あなたとの距離遠くなる蛍の夜

安八郡輪之内町 野村 照子

年金の満額受給目高飼ふ

三重県鈴鹿市 松井 政典

噴水や昼食抜きの昼休み

三重県四日市市 藤田 勝民

パスキーの馴染めぬ齢古茶を汲む

大阪府堺市 棕本 望生

入選

神苑の水面輝く花菖蒲

大垣市

河合 咲子

新聞にサーカスの券夏に入る

大垣市

宇佐美 昭子

年縞館出るや現世の新樹光

福井県敦賀市

山田 美千代

人に垣なき大垣の水温む

東京都新宿区

齋藤 充

底なしの深き淵あり白椿

大垣市

杉山 はるみ

オクターブ上げて夜通し鳴く蛙

大垣市

田中 雅子

葉桜やつつましくそれ私です

大垣市

青山 満智子

花は葉に退院日までもう少し

大垣市

永江 美佳

風みどり一夜城内吹き抜ける

不破郡垂井町

小畑 美智子

ガウデイの夢を未来へ十葉よ

大垣市

村井 娑婆

大の字に構ふる新居女郎蜘蛛

安八郡輪之内町

野村 照子

葉桜の編み込まれゆく峡の空

養老郡養老町

佐藤 咲楽

良い人が見れば良い色七変化

大垣市

三輪 実

春宵や冥土につながるスマホ無く

大垣市

大橋 浩美

老鶯のこゑ続きをり納棺日

茨城県稲敷郡

杉山 満

選者吟

太陽がいつぱい雨後の蓮浮葉

せいじ



一般の部